



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

6月、しかも夏至も過ぎたと言うのに肌寒い日が続きますね。今年の夏はどんな気候になるのか、農作物への影響を思うと農家の方達の心配が伝わってきます。やはり夏は夏らしくあることを望むところです。さて、6月18日朝に大阪を襲った地震は本当に驚きでした。被害の全容が未だ判っていませんが大変心配しています。日本中どこでも可能性のある直下型地震です。2年前の熊本地震もそうでしたが、まさか熊本であのような大きな地震が来るとは誰も予想していなかったのではないのでしょうか。もしもこの地域に大規模災害が発生した時、恵み野病院がその機能を保持しているか、失っているかで対応は全く異なりますが、東日本大震災の時の石巻赤十字病院の活動を振り返り、心に刻んでいます。



最後に少し明るい話題を。サッカーワールドカップ2018ロシア大会が開幕しました。6月19日、日本は格上のコロンビアに予想を裏切り快勝しました。やはり勝負はやってみなければ判らないですし、だから面白いのでしょうね。日本がグループリーグを突破し、決勝トーナメントに進めるか？しばらく睡眠不足が続きそうです。(6月20日 記)

恵庭市在宅医療介護連携支援センターです

当センターは、医療機関や介護関係者の連携を推進するための相談窓口として、恵庭市の業務委託により、恵み野ケアサポート内に開設されました。

恵み野病院貝嶋院長をセンター長とし、専任の相談員が2名配置されています。年を重ねると医療と介護の両方を必要とすることが多くなりますが、今後、高齢者人口の増加が見込まれるなか、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける」ことができるよう、地域の医療と介護のスムーズな連携により、在宅医療サービスと介護サービスの一体的な提供の実現を目指します。



平成30年
4月開設

病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の**病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止**となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



恵み野病院脳神経外科紹介

脳神経外科部長 福田 博

<部門紹介>

脳神経外科常勤医3名・非常勤医1名の医師、看護師35名、看護助手7名が2階病棟に勤務しています。脳外科担当の病気は脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血など脳卒中が中心ですが、その他頭部外傷・脳腫瘍・脊髄・正常圧水頭症・てんかん・髄膜炎・ギラン・バレー症候群・認知症・意識障害・めまい・パーキンソン病など様々な病気の診療を行っています。脳神経外科は救急が多く、昨年度救急車搬送された患者さんの約4割が脳外科でした。

<医師紹介>

貝嶋光信(院長) 鹿児島大学昭和51年卒 脳神経外科専門医

正常圧水頭症をライフワークとし、講演など啓蒙活動をしています。

福田博(脳神経外科部長) 旭川医科大学昭和54年卒 脳神経外科専門医

てんかん学会専門医 てんかんの手術も行っています。

山本和秀(脳神経外科医師) 旭川医科大学平成2年卒 脳神経外科専門医

内田和希(非常勤脳神経外科医師) 旭川医科大学平成13年卒 脳神経外科専門医

血管内手術専門医で金曜日午後外来担当 動脈瘤コイル塞栓術を得意とします

<外来>

3階にあり月・水・土曜日の午前、火・木・金は午前・午後開いています。午前は混んでいますが、午後は比較的空いており、緊急でなければ午後外来が待ち時間は短くお勧めです。木曜午後は別にてんかん外来(福田医師)も行っています。

<病棟>

2階にある脳外科・泌尿器科・整形外科・外科の混合病棟で、ベッド数は50床です

<活動実績>

2017年度の外来患者数(新患、初診、再来)・入院患者数・手術件数の統計は下記のとおりでした。ここ数年間外来数・手術数・入院数は漸増傾向にあります。

年間外来患者数: 新患 401, 初診 1704, 再診 12203

年間入院患者数: 421

脳血管障害: 170 (脳梗塞:103 脳塞栓:22 脳出血:31 クモ膜下出血:7 一過性脳虚血:4 未破裂脳動脈瘤:3)

頭部外傷:39 脳腫瘍:5 正常圧水頭症:34 てんかん:36 脊髄:4

中枢神経感染症:2 肺炎:33 めまい:7 その他:37

年間救急搬送患者数: 病院全体:1374 脳神経外科:550

年間手術数: 97例

脳動脈瘤クリッピング術11(うち未破裂2、破裂9)、開頭脳内血腫除去術10、

脳動静脈奇形2、水頭症V-Pシャント術11、水頭症L-Pシャント術8、

シャント再建術1、慢性硬膜下血腫30、急性硬膜下血腫2、急性硬膜外血腫1、内外減圧術1、

脳腫瘍摘出術2、脳膿瘍2、脳室外ドレナージ術1、頸椎脊柱管拡大術2、腰椎脊柱管拡大術1、

てんかん手術1、第三脳室開窓術1、頭皮下腫瘍摘出術1、キアリ奇形1、硬膜外膿瘍2

<恵み野病院脳外科の特色>

脳神経外科の一般的な疾病を幅広く診療していますが、その他に特発性正常圧水頭症手術、てんかんの手術も行っているのが当院脳神経外科の特色です。

#特発性正常圧水頭症(iNPH): 歩行障害・認知症・尿失禁などの症状をきたす高齢者に多い病気です。脳室又は腰椎から脳脊髄液を腹腔へ流す細いチューブを植え込む小手術で症状改善します。

#てんかん手術: てんかん治療は内服薬が基本ですが、数種類の薬を飲んでも発作が止まらない難治性の患者さんがいます。この内手術で改善する患者さんが約半数います。てんかん専門医の福田医師が、てんかん専門外来(木曜午後)を開いています。難治性てんかんの手術も行っています。“側頭葉てんかん” “外傷性てんかん焦点切除術” “脳梁離断術” “迷走神経刺激装置植え込み術”等を行っています。

#てんかんの食事療法(ケトン食療法)

薬・手術でも効果がない難治性てんかんに対するケトン食療法にも取り組んでいます。炭水化物・ブドウ糖を減らし、蛋白・脂肪を多めにする食事です。ケトン体はてんかん焦点を抑制する作用があります。